

政策調整会議の概要

開催日 令和8年7月23日（木）

◎項 目

- 1 令和9年度予算編成に向けたサマーレビュー等の進め方について
- 2 県庁インターンシップの実施について
- 3 令和8年度高知県障害者就労施設等からの物品等の調達方針について

◎内 容

1 令和9年度予算編成に向けたサマーレビュー等の進め方について【総合企画部】

○総合企画部副部長

本年度のサマーレビューは、人口減少問題を中心に、県政課題の克服に向け、これまでの施策の成果検証や「積年の課題」について重点的に議論を行う。

協議は主に4項目で構成される。1点目の成果検証では、人口減少対策の重点施策に関わるKPIに基づき効果を検証した上で、各施策を「縮小・廃止」、「創造や集合も含めたやり方の見直し」、「現状維持・伸長」の3類型に「仕分け」を行っていただきたい。

2点目の知事の指示項目では「積年の課題」への取り組みを優先的に説明することを推奨する。1点目、2点目に共通して、予算を伴わないものも含め、4Sや事務負担の軽減の視点も意識しながら、やり方そのものについて、時代の変化に対応して変えていくことに意を用いていただきたい。3点目の歳入確保策では自主財源の確保策を検討し、4点目の次年度に向けた政策の「方向性」では新たな挑戦に向けた方向性を説明いただきたい。

「元気な未来創造枠」については、令和9年度当初予算編成においても継続するが、この要求枠については、原則、サマーレビューの議論を踏まえた事業を対象とする。

2 県庁インターンシップの実施について【総務部】

○総務部副部長

8月下旬より、インターンシップの受入を開始する。この取り組みは、県行政の魅力ややりがいを直接伝えることで、志望者減少が課題となっている県庁の人材確保に繋げる極めて重要な施策である。

今年度の受け入れ予定人数は計125名となっており、昨年度実績の111名から増加している。実際にインターンシップ参加者の翌年度試験への受験申込率は50%を超えており、採用において高い成果を上げていることから、期間中、各部局には、実務体験や若手職員との交流、最終日のフィードバック面談などについて、積極的な協力をお願いする。

3 令和8年度高知県障害者就労施設等からの物品等の調達方針について【子ども・福祉政策部】

○子ども・福祉政策部副部長

今年度の県の調達方針を定めたことに伴い、この趣旨を踏まえて積極的に障害者就労施設等からの調達に努めていただきたい。

昨年度の調達実績額は39,664千円であった。物価高騰による事業所の厳しい現状を踏まえ、令和8年度の調達目標額は41,000千円以上とした。

各部局が発注を検討する際の相談窓口として設置されている「高知県社会就労センター協議会（共同受注窓口）」や、就労継続支援事業所が生産している商品等の情報を掲載したホームページ「Happy」も参考にしていきたい。

原油価格や物価高騰の影響を大きく受けている福祉施設・当事者の工賃（収入）確保のため、より積極的な発注をお願いする。